

# 令和4年度 土木部組織目標

<b>組織名</b>	土木部	<b>部長</b>	土木部長 鈴木 浩信
<b>組織の目的・方向性</b>	<p>道路や公園など都市基盤施設は、自然災害のリスクから市民の生命や財産を守るとともに、安心して安全な潤いのある暮らし支えています。</p> <p>また、「選ばれる都市 新潟市」の実現に向け、本市の社会経済活動を活発化させるためには、創出されたストック効果をより一層、活用する必要があります。</p> <p>一方、少子高齢化社会を迎え、これら施設の老朽化が進んでおり、これまでにない「集中と選択」が求められています。</p>		

## 土木部組織目標

<p>地震・津波・豪雨・雪害などの災害から市民の生活を守るため、道路、橋梁、公園施設の耐震化・長寿命化を関係機関と連携しながら進め、都市基盤の更なる強化を図り災害に強いまちづくりを行います。特に冬季間の道路交通の確保では、令和3年度に立ち上げた「新潟市除雪体制等検証会議」により、効率的な除雪体制を構築するとともに、本市の地域特性を考慮した支援について、国・県など関係機関に働きかけ、除雪にかかる安定的な財源確保に努めます。</p> <p>また、各地域拠点を結ぶ道路網は、都心を中心とした放射状と環状の連携軸の整備を進め、広域的な相互連携を高め、物流・人流のさらなる拡大を図ることにより、本市の拠点性の向上と災害に強い物流ネットワークの構築を目指します。一方、過度にマイカーに依存するようなライフスタイルを改め、誰もが徒歩や自転車、公共交通などで快適に移動できる、環境整備を進めます。</p> <p>職員の育成については、土木職員の専門的な知識の向上をベースに、社会情勢などの潮流を踏まえた政策提案の機会を促すなど、職員の多角的な視点や説明・交渉能力の向上に取り組みます。</p> <p>この方針のもと、今年度は、次の4つの目標に重点的に取り組みます。</p> <p>&lt;重点目標&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ファシリティマネジメントの考え方に基づいた都市基盤施設の更新に取り組みます。</li> <li>2. 地域間の物流・人流のさらなる拡大に向け、幹線道路網の整備を推進・促進します。</li> <li>3. 「にいがた2キロ」のエリアにおいては、歩行者や自転車などへの安全性の確保をベースに、潤いや安らぎ、風格のある街並みの創出など、関係部署と連携しながら拠点性の向上に努めます。</li> <li>4. 四季を通じて市民の暮らしを守れるよう、常に「足元の安心安全」を確保に取り組みます。</li> </ol>
--

※重点目標における指標や取組状況は、各課組織目標をご覧ください。

## 評価

<b>取組結果</b>	<b>重点目標の達成状況</b>	<b>目標数</b>	14	<b>達成数</b>	12
<b>今後の方向性</b>	<p>4つの重点目標を達成するため、土木部各課において14の組織目標を設定し事業に取り組みました。事業を推進した結果、12の項目について目標を達成しました。</p> <p>「新潟市総合計画2030」の基づき、持続可能なインフラの整備と維持保全に取り組み、将来にわたって市民が安心して利用できる道路ネットワークの確保を目指します。また、多様なライフスタイルに合わせ、自転車利用環境の向上を図るとともに、都心エリアにおいて緑化の取組みを推進します。</p>				